

回									
覧									

加古川市人権文化センターだより

発行：加古川市人権文化センター
 住所：加古川市加古川町備後
 332-1
 電話：079-451-5030

12 月 10 日は人権デー 12 月 4 日～10 日は「人権週間」です。

「ふつう」って何でしょう？

1948 年 12 月 10 日の国連総会で「世界人権宣言」が採択され、国連はこれを記念して 12 月 10 日を「人権デー」としています。国内では、毎年 12 月 4 日から 12 月 10 日までの 1 週間を「人権週間」として、人権に対する気づきや、理解を深めるきっかけとなるよう、全国的な啓発活動が行われます。その活動のひとつとして人権啓発ポスターがあります。

国内では加古川市をはじめ、様々な人権啓発ポスターが制作されますが、中でも愛知県が 2016 年に制作した人権啓発ポスター（下図参照）のイラストとキャッチコピーが大変印象的でしたのでここに紹介します。イラストは漫画家の大橋裕之さん、キャッチコピーは「わたしの『ふつう』と、あなたの『ふつう』はちがう。それを、わたしたちの『ふつう』にしよう。」

とあり、「一人ひとり、『ちがい』があるのは当たり前。多様な価値観を受け入れて、お互いの個性を認め合いましょう。」と続きます。

私たちは「ふつう」という言葉をよく使います。そして多くの方は自分は「ふつう」だと思っています。そして自分ができることは他の人もできて「ふつう」、反対に自分ができることをできない人のことを「ふつうじゃない人」と思ったりします。でも本当にそうでしょうか？この漫画の登場人物のように、「お互いの違いや個性を認め、受け入れて、一緒に協力していくこと」を英語で「インクルージョン」といいます。自分の中の「ふつう」が他の人にとって「ふつう」とは限りません。だからこそ私たちは「インクルージョン」を意識し、自分と違うと思う人の良さをみつけ、違うことを楽しみながら、一緒に協力していけるようになっていきたいと思えます。

最後にもう 1 度。「わたしの『ふつう』と、あなたの『ふつう』はちがう。それを、わたしたちの『ふつう』にしよう。」



わたしの「ふつう」と、あなたの「ふつう」はちがう。
 それを、わたしたちの「ふつう」にしよう。

一人ひとり、「ちがい」があるのは当たり前。
 多様な価値観を受け入れて、お互いの個性を認め合いましょう。



お知らせ

●展示物のお知らせ

- ・世界人権宣言パネル展示（常設）
- ・2024年人権の絵手紙カレンダー応募作品展

【期間】12月1日（金）～1月31日（水）午前9時～午後9時

※土曜日は午後5時まで。日曜日、祝日、年末年始を除く。



●図書購入のお知らせ

人権に関する本を購入しました。貸出もできますので、図書コーナーにぜひお立ち寄りください。

（※貸出について 期間：2週間以内、冊数制限はありません。）

	<p>書籍名：子どもも大人もわかってほしい いちばんやさしいLGBTQ</p> <p>著者名：清水 展人</p> <p>出版社：KADOKAWA</p> <p>出版年：2023年</p> <p>■「多様性の時代だからこそLGBTQの正しい理解をあなたに届けたいんです」と2児の父になったトランスジェンダーの著者が語る。</p>		<p>書籍名：アイヌのことを考えながら北海道を歩いてみた</p> <p>著者名：カベルナリア 吉田</p> <p>出版社：ユサブル</p> <p>出版年：2022年</p> <p>■交流、衝突、搾取、そして今、旅してみえてきた本当のアイヌ。失われたカムイ伝説とアイヌの歴史を探る。</p>
	<p>書籍名：ウトロ ここでき、ここで死ぬ</p> <p>著者名：中村 一成</p> <p>出版社：三一書房</p> <p>出版年：2022年</p> <p>■ウトロの住民たちの記憶と願いを燃り合わせ、今後の開いの肝を記した宣言「オモニの歌」-「われら、住んでたかう」を合言葉に。</p>		<p>書籍名：トラブル回避のために知っておきたいハラスメント 言いかえ事典</p> <p>著者名：山藤 祐子監修</p> <p>出版社：朝日新聞出版</p> <p>出版年：2021年</p> <p>■ダイバーシティ時代の必携本！要注意なシチュエーション100で信頼される声かけの手本。</p>
	<p>書籍名：マンガでわかる！認知症の人が見ている世界</p> <p>著者名：川畑 智</p> <p>出版社：文響社</p> <p>出版年：2021年</p> <p>■介護がずっと楽になる！認知症の人が愛おしくなる！認知症の「なぜ？」「どうして？」が解決する珠玉の4冊。</p>		<p>書籍名：バスが来ましたよ</p> <p>著者名：文 由美村 嬉々 絵 松本 春野</p> <p>出版社：アリス館</p> <p>出版年：2022年</p> <p>■目の病気から全盲になった男性が、地元小学生に助けられながら続けた、バス通勤。温かい小さな手の、そして小さな親切の物語。</p>

他、58冊を新規購入しました。詳しくは人権文化センターのホームページをご覧ください。

<https://www.city.kakogawa.lg.jp/soshikikarasagasu/shiminbu/jinkensesakusuishinka/1479348544779.html>

